

(1) 地域の活性化を図るために取り組むべき課題

中山間地域は、傾斜地や狭い農地が多いなど農業の生産条件が不利で、集落内の道路が狭いなど生活環境の整備も遅れている。加えて、少子高齢化による担い手不足が活力低下に拍車をかけている。

このため、農業生産基盤と生活環境基盤を総合的に整備し、農業生産の向上や定住の促進、都市との共通社会基盤の形成を図り、中山間地域の活性化を図るべきである。

このことから、生産基盤と生活環境の一体的な整備を如何にして進めるかが課題となる。

(2) 課題解決に向け、調査検討が必要な対策

課題を解決するため、「農村振興基本計画」に即して、地域住民等の意向を踏まえた中山間地域の村づくりを進めるべきである。

なお、村づくり計画策定に当たっては、目標・指標を設定し、目標達成のために農業生産基盤と併せて農村生活環境基盤で必要なものを調査検討すべきである。

(3) 業務を進める手順

業務の進め方として、①農業での所得向上に繋げるため、主作物の稲作の収量増大・生産コストの削減、新たな所得向上の為の高収益性作物の導入などの農業での所得向上に繋げるための可能性調査、②農村コミュニティの維持・再生施策、③都市住民を受け入れるための生活環境の向上施策として汚水処理施設の検討、

の手順で進める。

(4) 生産・生活基盤整備の技術的留意点

ア) 生産基盤整備として、地形が急峻なことから、等高線に合わせた長方形にこだわらない整備や機械搬入を容易にする農道網の整備に留意すべきである。また、地域の実情にあった多様な作物を栽培できるよう、基盤整備により水田の汎用化にも留意すべきである。

イ) 農村コミュニティの維持・再生を図るための交流の場となる活性化施設の整備においては、災害時の避難施設となることにも留意して整備する。これらに加えて、集落の孤立を防ぐ道路の整備も併せて行うべきである。

ウ) 汚水処理施設の整備に当たっては、関係部局間で連絡会議を設置し十分な調整を図り、各種汚水処理施設の特性、経済性等を総合的に勘案し、地域の実情に応じた効率的かつ適正な整備手法の選定に留意すべきである。

エ) 主役は地域住民であり、維持管理を行っていくのも地域住民である。上記施設の整備にあたっては、地域住民が自主的に維持管理に取り組んでいけるよう、住民参画のための配慮が必要である。